

令和7年度 第4回 吹田市公共施設最適化推進委員会 議事概要(3)

日 時:令和7年(2025年)11月17日(月)午前11時30分～正午

場 所:吹田市役所 高層棟4階 特別会議室 及び オンライン

出席者:<特別会議室に参集>

辰谷副市長(委員長)、春藤副市長(副委員長)、大江教育長(副委員長)、
伊藤理事(公共施設整備担当)、山下総務部長、今峰行政経営部長、大山市民部長、道場児童部長、
梅森福祉部長、清水都市計画部長、井田学校教育部長

<府内テレビ会議システムにより出席>

岡田危機管理監、北澤理事(子育て支援センター担当)、岡松健康医療部長、
松林保健所長、道澤環境部長、真壁土木部長、山田消防長、二宮地域教育部長

所 管:【都市計画部 資産経営室】川本室長、檀野参事、隅田主幹、山崎主幹、横山主査、梶山主査、
保科係員

案件	吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画の改訂について
【案件概要】	
令和2年度に策定した吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画について、5年ごとに改訂を行うとしていることから、今年度末の改訂に向けて改訂素案の内容を確認するもの。	
【所管部の考え方】	
本市では、これまで整備してきた多くの公共施設が老朽化を迎えており、今後多くの学校施設の建替え時期を迎える大きな財政負担が想定される中、長寿命化や複合化などの対策、官民連携等のほかコストの縮減や平準化などの取組をより積極的に進め、限られた予算の中で将来にわたって質の高い市民サービスを効果的かつ効率的に継続していくことを目指し、本計画の改訂を予定している。	
【質疑概要】	
意見: 今後30年間の想定対策費用は、修繕や改修、建替えなどのハード面の費用を算出している。建物を維持していくにあたっては、人件費など施設を運営するためのソフト面の費用もかかるため、今後の話として行政経営部と連携のうえ、ソフト面についても考察してほしい。	
質問: 第3章の各施設の対策スケジュールでは、短期取組期間を5年、中長期取組期間を10年と15年としているが、今後30年間の想定対策費用は5年ごとのグラフになっている。費用はどのように算出しているのか。	
回答: 3つの区分の取組期間でスケジュールを示しているが、費用については、試算として年度ごとに算出しており、グラフでは5年ごとに表している。	
質問: 今後30年間の想定対策費用は、現状の単価で算出したものか。	
回答: そのとおりである。	
意見: あくまで、現在保有する施設数や延床面積を維持しつつ、複合化の可能性も考慮せず、工事内容も一般的に想定されるものとの条件で試算したものであり、実施の際には精査して取り組んでいく必要がある。	
意見: パブリックコメントに向けて進めることとする。	

【結果】

当案件について、方向性が確認された。